

(別紙)

審査基準

下表の基準に従って審査委員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点（85 点満点）とする。最終的に各審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。

ただし、順位決定を行う際に、同位の提案が複数ある場合は、審査委員会において協議の上、順位を決定する。

なお、審査委員の1名以上が評価項目のうち評価点5点満点の場合に2点未満、10点満点の場合には3点未満とした場合（項目②及び⑥を除く）又は審査点が30点未満の場合は失格とする。

評価項目		評価の視点		配点
取組の実現性	経営状況 事業実績等	①	会社規模、財務状況などから業務の執行に支障はないか。	5
		②	類似業務（効果検証業務等）の経験や知識が豊富であり、本業務を効果的に遂行する十分な実績を有しているか。	10
		③	業務を遂行するための全体スケジュール設定が妥当かつ現実的であるか。	5
業務推進体制	業務実施体制の確保	④	業務が円滑に進められるための適切な業務体制となっており、必要な人員が確保されているか。	5
企画提案内容	企画全体設計	⑤	本業務における基本的な考え方、実現すべき目的、コンセプトを十分に理解しているか。	5
	事業費	⑥	提案内容を実現するための経費が漏れなく計上されており、積算根拠・委託費総額等は妥当か。	5
	アンケート調査	⑦	調査方法、回収方法、整理方法等について具体的な手法が提案されているか。	10
		⑧	効果検証に必要なアンケート調査項目が提案されているか。	10
		⑨	アンケート対象者、回収数、使用する言語を増やす工夫など独自の提案がされているか。	10
		⑩	利用者、従業員の負担軽減が配慮されているか。	5
	分析・検証方法	⑪	効果検証内容について、仕様書に示した内容が網羅されているか。	5
⑫		分析方法、WHSR 取得効果の検証方法について、専門的知見を生かした独自の提案がされているか。	10	

[審査点 合計 85 点]

評価基準

各審査内容・項目の配点は5点満点もしくは10点満点の配点とする。

	5点満点	10点満点
特に優れている	(5点)	(10～9点)
優れている	(4点)	(8～7点)
標準	(3点)	(6～5点)
やや劣る	(2点)	(4～3点)
特に劣る	(1点)	(2～1点)
要求水準を満たしていない	(0点)	(0点)